

佐久市公民館運営審議会 会議録（要旨）

日 時 平成 29 年 8 月 9 日(水)
午前 10 時～午前 11 時 43 分
場 所 市民創錬センター 大会議室

○委嘱書の交付

1 開 会

2 あいさつ

市川会長
糊澤教育長

3 自己紹介

4 会議事項

(1)会長の選出及び職務代理者の指名について

事務局より説明

会長に市川悦雄さんが選出、職務代理者に山岸明雄さんが指名

(2)企画部会員の選出について

事務局より説明

武井宣子さん、井出亮さん、東城公人さん、森喜美子さん、市川悦雄さんの
5名が選出

(3)平成29年度佐久市公民館事業計画について

事務局より説明

【質疑応答】

委 員： 小学生との交流を公民館報に載せているか。公民館報が中途半端な気がする。読む人に刺激を与えるような作りをしてもらいたい。

事務局： 限られた広報スペースの中で、順番で「小学生体験学習」や講座、教室の情報を、読む人の目を引くような工夫をしながら紙面づくりを行っている。

- 委員：若い世代や男性が公民館活動に加わってもらいたいと思う。
- 事務局：どこの公民館でも課題となっている。若い世代や男性を対象とした講座や教室を計画し開催しているが、なかなか参加者が増えない状況である。継続して課題解決に向けた取り組みを行っていく。
- 委員：公民館報が市の広報紙と合冊になり、公民館報のページ数が減っているので増やせないか。それと、どの講座や教室にも託児があれば参加者は増えるのではないか。
- 事務局：広報紙全体のページ数が削減され、限られたページ数の中で7地区館の情報を交代で載せている。ページ数を増やすことも関係課と協議をしているが難しい。
- 託児については、若い母親を取り込むための手法であり、対象者を絞った講座や教室で実施することが効果的だと思う。高校生や大学生による託児ボランティアの確保が課題であるので力を入れていく。
- 委員：公民館活動において、中央や地区公民館がいつまでも主導で活動を行っているようでは心配である。自分達で相談して集まることが大切で、最終的には自主学習グループへと発展していかないといけない。
- 事務局：公民館活動で大事なことであり、コアになる人材をキャッチして自主的に活動していけるようフォローしていく。
- 委員：住んでいる地域でも公民館活動の広報を出してもらえれば、地域の課題や情報が分かり親近感が湧いてくると思う。
- 事務局：地元の公民館活動を知ってもらうこと、広報を見て「参加」につなげるためには必要なことだと思う。各地域で工夫した広報づくりがされている。

(4)その他

5 閉 会